

(別紙2)

領収書等添付用紙

会派名

代表者名・議員名 菊池 彰

整理番号	1	支出年月日	5.3.9
費目	玄報費	金額	69,350円
領収書・その他証拠書類 添付欄			

領 収 書

第 138992-23 号

おなまえ	菊池 彰 様	<領収内訳>		<備考>
受領金額	69,350 円	現金	69,350 円	
	内消費税額 6304 円	小切手		
※ 金額欄を訂正しているものは無効です		切手		
		証紙		
		キャッシュレス決済		
		(決済ブランド名)		

お取引の内容	
<input checked="" type="checkbox"/> 切手・葉書・印紙・販売品の販売 <input type="checkbox"/> 郵便料金の収納 <input type="checkbox"/> (別納) 計器予納金 受取人払 <input type="checkbox"/> 着払 その他()	① (0894) (@ 73 円) × 950 (枚・個・通・件) _____ (@ _____ 円) × _____ (枚・個・通・件) _____ (@ _____ 円) × _____ (枚・個・通・件) _____ (@ _____ 円) × _____ (枚・個・通・件) _____ (@ _____ 円) × _____ (枚・個・通・件)
貯金	
保 險	保険料の払込み 保険証券(書)の記号番号 _____ 払込期間及び払込月数 _____ 年 _____ 月期から _____ 年 _____ 月期まで _____ 年 _____ 月分 _____ 年 _____ 月期から _____ 年 _____ 月期まで _____ 年 _____ 月分
物販等	店頭販売商品の販売 カタログ販売 その他() _____ (申込書番号)

上記の金額を、確かに領収いたしました。

2023 年 3 月 9 日

取扱郵便局 喜不 郵便局

電話番号 (0894) 36-1000

日本郵便株式会社

(所在地：東京都千代田区大手町2丁目3番1号)

取扱者氏名

※ 裏面の「ご注意」欄をご確認ください。

第 138992-23 号



(別紙2)

領収書等添付用紙

会派名

代表者名・議員名 菊池 彰

整理番号	2	支出年月日	5.3.9
費目	広報費	金額	99,550円
領収書・その他証拠書類 添付欄			

領 収 証

菊池 彰 様

令和5年3月9日

金 ¥ 99,550 円也

但し、報告書封筒作成
上記正に領収いたします。



クリエイティブC.R

代表 梶原 篤

〒0112 豊橋東八幡浜市保内町瀬川

TEL/FAX: 0894-36-3130



事業名、使途及び内容

備考

いつもありがとうございます。下記の内容をご連絡いたします。

請求書

No. _____

令和 5年 3月 9日

菊池 彰

様

下記のとおり御請求申し上げます



いつも心にデザインを

CREATIVE

C.ROOM

クリエイティブシールーム

〒796-0112 愛媛県八幡浜市保内町須川1059-1
TEL.FAX:0894-36-3130 代表 梶原 寛

税込合計金額 ¥ 99,550

税率

10 %

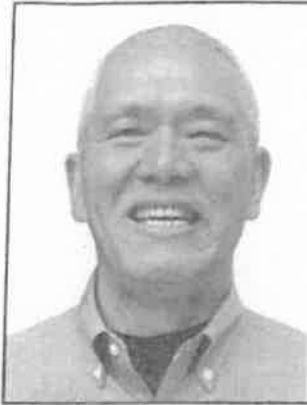
消費税額

¥

9,050

月	日	内容・品名	数量	単価	金額	摘要
3	10	1 リーフレット(4色×4色・コート紙73kg・DM折り)	1,100	@ 28	30,800	
		2 封筒(長3ソフトカラーブルー・スミ1色刷り)	1,100	18	19,800	
		3 封筒宛名印刷	1,100	9	9,900	
		4 デザイン・データ作成			30,000	
		5			-	
		6			-	
		7			-	
		8			-	
合 計					¥ 90,500	





菊池 彰からのご報告

発行日 令和5年3月10日 発行元 菊池あきら後援会
〒796-0170 八幡浜市日土町6-709
TEL0894-26-0516 (菊池彰)

コロナ禍での不自由な生活が3年以上続いています。昨年は「第7波」が落ち着きを見せたところから「感染症対策」と「社会経済活動」の両立を目指し、ウィズコロナで八幡浜市においても「花火大会」などのイベントが再開され賑わいを取り戻してきています。

規模縮小や人数制限で行事を行う地区や、高齢者の方に配慮して慎重に判断された地区もあったようです。

長引くコロナ禍で、人と人との繋がりが結び付きが疎遠になって来ているのではと心配していましたが、本年5月8日より季節性インフルエンザと同じ「5類」に引き下げられ、医療や社会活動に関する制限措置が緩和され、やっとマスク無しでの生活が出来そうです。

コロナ前のように、人が集まり語らい、膝を付き合わせて親睦融和をはかる事が出来る穏やかな日常生活が一日でも早く戻って来る事を願っています。

さて、ロシアのウクライナへの軍事侵攻が始まり一年以上経過しました。現在も終息の気配がありません。

長引く侵攻の影響を受けて原油価格の上昇・物価の高騰で日用品食料品の値上げ・再値上げが続き、日々の暮らしを大きく圧迫しています。肥料や畜産の飼料も原材料高や円安の関係で値上がりしています。

今後も様々な業種に波及してくるものと思われれます。

市民の方々が安心して生活ができるように、救済措置や支援の拡充に提言・要望をしています。

「正直に誠実にまっすぐに」を信条として、これからも安心して安全に快適に暮らせる町づくりの為に、市政発展の為に、真摯に取り組みます。

一般質問した事を、全てを掲載出来なくて十分な報告書にはなっていませんが、ご一読頂ければ幸いです。

安心して安全に快適に過ごすことが出来る環境整備について

問 市道の補修について、令和2年度分また令和3年度分の2月末までの要望件数と対応出来た件数並びに工事費について伺う。

答 令和2年度の状況は、住民からの情報提供や職員の道路パトロールも含めて530件の現地調査を実施して、工事修繕を行ったのは287件である。工事費については4,255万5,000円、修繕費は906万6,000円である。令和3年度2月末においては517件の現地調査を実施して、工事修繕を行ったのは240件である。工事費については4,105万5,000円、修繕費は626万2,000円である。まだ出来ていない未了の工事については、改めて施工業者に依頼して対応していきたい。

問 平成29年3月に青石中学校が廃校になり、本年3月で丸5年になる。校舎は建設されて56年が経過しており、耐震基準を満たしていない。雨漏りも確認されているとのことであり、建物の活用は難しいと考える。また校舎の北側と人家の距離は10メートル未満である。防災まちづくりの一環として、災害の発生を予測した事前復興という取り組みがあるが、倒壊の危険を予測して校舎を取り壊す、事前解体という考えは出来ないものか伺う。

答 校舎については昭和40年建設で築後56年が経過し、老朽化が激しく、耐震基準を満たしていないので避難所として活用することができない。雨漏りもしているため、取り壊すしかないと思われる。

しかし事前解体は市単独事業になり、多額の経費となるため跡地利用を含めて今後検討していきたい。

移住・定住への取り組みについて

問 コロナ禍になり、都会の喧騒から逃れて地方・田舎暮らしに憧れを持つ人が増えている状況の中で、令和2年度に愛媛県に移住された方は前年度比29%増の2,460名であった。八幡浜市の令和2年度の移住者数は何名であったのか。令和3年度は1月末時点で何名であるのか伺う。また、市として移住者を増やすためにどのような施策を実施しているのか伺う。

答 移住者数の把握については、転勤等を除いた数字を基本としている。令和2年度の移住者数は424人「県内が289人、県外が135人」である。令和3年度は1月末までの移住者数は314人「県内が198人、県外が116人」である。移住者を増やすための施策として、移住・定住支援ポータルサイトを充実させ、令和2年度には八幡浜市移住ガイドブックを改訂した。Uターン促進のためUターンリーフレットを作成し、広報紙に併せ全戸配付、成人式でも参加者へ配付した。さらに移住視察等で訪れる場合に、希望を聞き取ってアテンドプランを作成して、面談と地域の案内を実施する「やわらはま暮らしオーダーメイドツアー補助金」、テレワーク等を行う場合に費用を一部補助する「ワーケーション推

進事業補助金」を用意している。そのほか住環境の整備である「移住者住宅改修支援事業補助金」、移住検討者と働き手を探す市内事業者をマッチングする「仕事情報おつなぎ支援」など様々な施策に取り組んでいる。

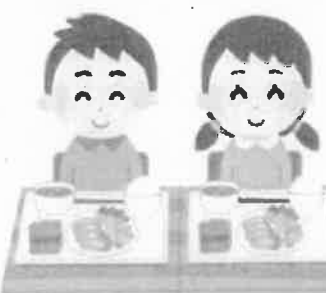


八幡浜市移住ガイドブック

少子化対策における子育て支援策について

問 少子化対策の一つとして自治体や国の助成で令和元年10月から3歳から5歳児クラスの幼児教育・保育が無償化されたが、0歳から2歳児の保育料についても市独自で保育料の半額助成もしくは無償化は出来ないか伺う。また物価高騰などの影響を受ける子育て世代を支援するために、給食費の無償化についても出来ないか伺う。

答 子供の数に伴う保育料の多子減免制度について令和2年4月から市独自で年収・年齢制限を撤廃し、第2子は半額、第3子以降は無償とすることで年間1,000万円の利用者負担を軽減している。0歳から2歳児までの保育料を半額にした場合は年間約2,250万円が、無償にした場合は約4,500万円が更なる市の持ち出しとなる。愛媛県下では多子減免制度を導入しているところはあるが、無償化はまだない。国の補正予算や来年度からの設置が予定されている「子ども家庭庁」の動向、近隣市町の状況等を注視していきたい。



と考える。また、令和3年度は給食に係る食材費用の総額は1億1,100万円、約1億800万円を保護者・教職員から徴収している。差額の300万円は一般会計からの補助金と廃油回収等で賄っている。子育て支援として1億円を超える給食費の無償化は現段階では考えていない。しかし、物価高騰のあおりを受けて給食費の値上げが必要になれば、値上げ分については市で補填したいと考えている。

問 現在市内にお産のできる産婦人科病院はないが、地元で安心して出産をしたい、また里帰り出産を望んでいる妊婦さんは多数おられると思う。今後の対応として、市立病院で安心して出産できる日がいつ頃になるのか伺う。

答 現段階では明確に答えることができないが、一日でも早く市立八幡浜総合病院での分娩が再開できるよう、複数の産婦人科常勤医師及び麻酔科・小児科常勤医師確保のため、今後関係大学の医局へ粘り強く働きかけを行うとともに、助産師の採用・育成にも力を入れていきたい。

脱炭素社会への取組について

問 地球温暖化の最大の要因は石油や石炭などの燃焼などによって排出される二酸化炭素と言われている。温室効果ガス排出量の削減を計画通りに進めることがそれぞれの自治体の責務であると考え、当市もゼロカーボンシティ宣言の意思表示をしたが、ここまでの経緯と具体的な取組について伺う。

答 平成20年3月に温室効果ガス排出削減の推進を図るため、第1次八幡浜市地球温暖化



対策実行計画を策定、5年をめどに改正を行っている。平成31年3月に第3次実行計画を策定し、2030年度に基準年である2013年度比で市関連施設の温室効果ガス排出量を40%削減することを目標としている。今年度については、スポーツセンターに地中熱を利用した省エネシステムをモデルケースとして導入する。今後も市民・事業者・行政が一体となつて地球温暖化対策に取り組み、2050年までに本市での温室効果ガスの排出量を実質ゼロにするための施策を策定する。

防災関連について

問 宇和島市では、災害で水道が断水した場合に民間の管理する井戸を市民が広く利用できる制度を設けている。現在、災害応急井戸628カ所をホームページで公開している。また、指定避難所に市が所有、管理する防災井戸を今年度9カ所掘削すること、工事も既に始まっている。当市においても、災害時に地域の生活用水を確保するため、市民や事業者が井戸水利用の協力依頼をするべきと思うがどうか。また、指定避難所に、防災井戸設置の考えについて伺う。

答 大規模災害時において、上下水道が断水により使用できなくなつた場合、災害応急井戸は有用なものと考える。市内の井戸数は飲料井戸として、愛媛県生活環境課から124カ所あると報告を受けている。内訳は、一般飲料井戸88カ所・事業用飲料井戸36カ所である。市が管理する防災井戸について、指定避

難所等に新たに井戸を掘削することは、現在のところ考えていない。しかし市内の個人や事業所が所有する災害応急井戸の活用については、飲料水・生活用水での使用も視野に入れ、今後は協力依頼も含めて検討したい。

問 政府は6月に見直した国の防災計画の中で、アレルギーに対応した食料の備蓄を自治体の努力義務として明記をした。避難先での誤食や食事への不安から、避難をためらうケースがあるので、アレルギー患者の生活に詳しい管理栄養士と連携して、それぞれの地域防災計画に反映するよう呼びかけている。現在の状況、今後の対応について伺う。

答 現在、食物アレルギー対策として特定原材料7品目及びそれに準ずるもの21品目を使用していない白米などの食料の備蓄に努めている。各避難所には白米を配備し、市防災倉庫などには、アレルギー対応のカレーピラフ・ワカメご飯・ライスクッキー・乳幼児粉ミルクなどを備蓄している。今後も食料の更新時には、管理栄養士の意見を聞きながら、食物アレルギーに配慮した食料への更新を行う考えである。

学校設備や遊具の点検、通学路の安全対策について

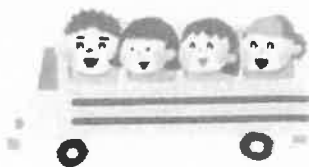
問 日本公園施設業協会では、国の遊具の安全指針を基に、都市公園の遊具の安全を確保する自主基準を定めている。小学校・保育所・幼稚園・公園に設置している遊具の点検については、どういった基準で行い、不具合箇所にはどういった対応を取っているのか伺う。

答 小学校・保育所・幼稚園・公園の遊具は全て同じ基準で点検を行っている。国土交通省が定めた都市公園の安全確保に関する指針及び一般社団法人日本公園施設業協会が策定した遊具の安全に関する基準に基づき設置しており、年1回の定期検査を業者に委託して実施している。劣化診断は目視、触診、聴診、打診及び必要に応じて用具を用いて摩耗状況や変形並びに経年劣化について点検をしている。不具合箇所については、軽微なものは点検と同時に、地面に接する部分の溶接や塗装の修繕は後ほど対応している。



通園・通所・通学バスの安全対策について

問 昨年7月と本年9月、認定こども園の通園バスの車内に園児が取り残されて、熱中症で亡くなるという痛ましい事件が発生した。運転手は園児が全員降車したか確認を怠り、またクラスの担任は欠席したと考え、保護者に問い合わせをしなかったなど、複数のヒューマンエラーが重なったことが原因と考えられている。登園時のチェックの仕方、無断欠席した場合の保護者への確認について、どういった方法を取っているのか伺う。



答 公立・私立の施設とも、園児の出欠確認は担当者が出席簿で確認をして、その後、園内で情報を共有している。連絡なしで園児が登園していない場合は保護者へ電話をして、欠席かどうか確認している。保護者と連絡が取れない場合は、すぐに勤務先や祖父母等家族の方に電話をするなど、必ず連絡が取れるまで対応している。

問 本年11月、岩手県において小学校1年生がスクールバスで下校時に寝込んでしまい、閉じ込められる事案が発生した。保護者から閉じ込められた時にはクラクションを鳴らすように教わっていたことで、運転手が気づいて引き返し、事なきを得た。

その後、全国各地の保育所・幼稚園でクラクションを鳴らす、力が足りないときはハンドルの腰をかけて音を出す訓練が実施されたとの報道があった。

該当する私立幼稚園3園でクラクションを鳴らす訓練を実施したところはあるのか、また、スクールバス利用の小学生に対しても訓練の実施、事例の報告をされたのか伺う。

答 調査の結果、どの園も訓練は実施していない。同乗している職員が園児の降車後、必ず見回りを行っている。また施設前に運転手が座席のアルコール消毒と併せて、再度確認している。しかし、万が一に備えて国からもクラクションを鳴らす訓練が示されているので、該当する施設に対して市からも再度通知を行う。スクールバス利用の小学生に訓練の実施はしていないが、国・県からの安全管理の徹底に関する指導を各委託業者に伝えており、運転手に対して指導していただいている。

デジタル教科書への取り組みについて

問 デジタル教科書は図や文字を拡大し、音声や動画も視聴できるのが特徴である。読み上げ機能やタッチペンによる書き込みもでき、学習方法の広がり、デジタル機能の活用による教育活動の一層の充実が期待されている。現在の取り組み状況・今後の計画について伺う。

答 国は児童・生徒用デジタル教科書の普及促進、その効果、影響について検証するため、令和2年度より実証実験を実施している。これは学校ごとに活用したい教科を希望する仕組みで、この制度を利用して今年度より全ての小中学校で導入しており、5月より本格的な活用がはじまっている。今後は、デジタル教科書を使った効果的な学習活動の実現に向け、教師が実際に使用する機会を確保するために、指導者用のデジタル教科書が必要であると考えている。令和6年度に小学校の教科書の改訂が行われるので、その後の国・県の動向を見ながら導入を検討していきたい。



電子図書館の導入について

問 図書館の開館日、開館時間、天候、距離などを気にせず、24時間365日インターネットを通じて電子書籍の検索、貸出し、返却閲覧が可能であり、自治体にとっても情報や資料を提供する非来館サービスが出来るメリットがある。

これまで内部で協議した中で、どういったことが問題点として浮かび上がっているのか伺う。

答 一つ目として電子化された書籍、いわゆるコンテンツの数が非常に少ない。著作権者の許諾を取る必要があり、子どもたちが調べ物でよく利用する児童書については、執筆者のほかに監修・写真撮影など複数の権利者が関わることも多く、著作権の処理に負担を要することが、コンテンツ数が伸びない原因の一つになっている。

二つ目として、コストパフォーマンスの悪さである。

紙の書籍は1冊平均で1,700円であるが、電子書籍は約3,300円である。また貸出回数52回、またはライセンスが2年の利用までとなっている。例えば10年間利用できるようにするには1冊で16,500円の費用が必要となる。

1ライセンスにつき同時に複数人がアクセスすることは出来ないため、利便性の向上には必ずしもつながらない問題がある。

要望

電子図書館が増えても、著作権者や出版社が安定して収入を得られる施策が確率されれば、貸出しや閲覧の制限が緩和されると思われる。導入に前向きな検討をお願いしたい。

順守します

議員の奇附行為や

当選お礼のあいさつ行為

年賀状等の時候のあいさつ状を出す事は、公職選挙法で禁止されています。

料金別納
郵便



郵便区内特別



決して

あきは、あきらめない!

わたしたちを取り巻くいろいろな問題の解決
みんなが健康で、夢の持てる八幡浜

菊池 彰

菊池あきら後援会

事務所 ● 八幡浜市日土町6-709 TEL0894-26-0516